

教育学科 初等教育課程 (初等教育コース) 【幼稚園】

A 66条の6に定める科目

2024(R06)年度以降入学生適用

法令区分	授業科目	単位	科目区分	開講年次	成績
日本国憲法	日本国憲法	2	全共	1-4	
体育	体育実習	2	全共	1-4	
外国語コミュニケーション	英語1・2	計2	外国語	1	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 ※	数理、データ活用及び人工知能に関する科目 AIとサイエンス 情報機器の操作 コンピュータリテラシー	2	全共	1-4	

※「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」又は「情報機器の操作」より2単位以上選択必修

B 教育の基礎的理解に関する科目等

2023(R05)年度以降入学生適用

記号の説明

必 … 教育実習参加条件科目 (かつ教免必修 ※p.21参照)

実習前年度までに修得していない場合は実習に行けません。※詳細はp.15参照
4年次で幼稚園での教育実習をするためには、3年次末までに実習参加条件科目(必印科目)の中から「教育基礎論」、「教職論」、「幼児教育法A・B」、「教育実習I(事前指導)」を含み15単位を修得する必要があります。

科目区分説明

専 門 … 学部の専門科目

教・資 … 教免・資格のための科目(卒業所要単位にならない科目)

複数の免許を取る場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

第一欄	教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	学 部				修得状況	
			授 業 科 目	単 位	幼1	学 部 科目 区分 開講 年次	修得 年次	成 績
第二欄	領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項 保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	※1. 次頁【C：領域及び保育内容の指導法に関する科目】欄を参照。	—	—	—	—	—
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育基礎論	2	必	専 門	1	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2	必	専 門	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行財政	2	必	専 門	3-4	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	必	専 門	2	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	発達心理学	2	必	専 門	2	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論(幼・小)	2	必	専 門	3	
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	幼児教育課程論A	2	必	専 門	1	
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	幼児教育法A	2	必	専 門	3	
		幼児理解の理論及び方法	幼児教育法B	2	必	専 門	3	
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	教育方法と情報技術	2	必	専 門	2	
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	※2.左記事項は「幼児教育相談(幼児理解を含む)」に含む 幼児教育相談(幼児理解を含む) ※2	2	必	専 門	2	
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習 ※3. 東京教師養成塾入塾者、彩の国かがやき教師塾マスターコース受講者は教育実習IIではなく特別教育実習を履修する。	教育実習I(事前指導)	1	必	専 門	3	
		教育実践演習	教育実習II(事後指導を含む) ※3	4	選必	専 門	4	
			特別教育実習(事後指導を含む) ※3	6	選必	専 門	4	
			教職実践演習(幼・小) ※4	2	必	専 門	4	
第六欄	大学が独自に設定する科目 ※5 学校図書館司書教諭科目：受講登録者のみ履修可。 「学校図書館司書教諭」取得希望者は、5科目全て必修。	教育学の基礎B(初等教育)	教育学の基礎B(初等教育)	2	必	専 門	1	
		こどもと音楽	こどもと音楽	1	必	専 門	2	
		器楽	器楽	1	必	専 門	2	
		こどもと造形	こどもと造形	1	必	専 門	2	
		美術	美術	1	必	専 門	2	
		学校経営と学校図書館	学校経営と学校図書館 ※5	2	選	教・資	2-3	
		学校図書館メディアの構成	学校図書館メディアの構成 ※5	2	選	教・資	2-3	
		学習指導と学校図書館	学習指導と学校図書館 ※5	2	選	教・資	2-3	
		読書と豊かな人間性	読書と豊かな人間性 ※5	2	選	教・資	2-3	
		情報メディアの活用	情報メディアの活用 ※5	2	選	教・資	2-3	

※4.教育実習の単位を修得できない場合、単位は付与されない。

必・選必の合計単位数

37~39

C 領域及び保育内容の
指導法に関する科目
2023(R05)年度以降入学生適用

科目区分説明 専 門 … 学部の特設科目
教・資 … 教免・資格のための科目(卒業所要単位にならない科目)

複数の免許を取る場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

幼稚園 1種		幼稚園教諭一種						
		教 職			学 部		修得状況	
法令科目区分		授 業 科 目	単 位	幼1	科目区分	開講年次	修得年次	成績
		○印は法令区分を満たすための必修科目						
①領域に関する専門的事項 幼稚園一種	健康	○ 幼児と健康	1	必	専 門	2		
	人間関係	○ 幼児と人間関係	1	必	専 門	1		
	環境	○ 幼児と環境	1	必	専 門	1		
	言葉	○ 幼児と言葉	1	必	専 門	2		
	表現	○ 幼児と表現	2	必	専 門	2		
領域に関する専門的事項 指定科目を修得		①必・選必の合計単位数		6				
②保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)		保育内容(健康)	2	必	専 門	3		
		保育内容(人間関係)	2	必	専 門	2		
		保育内容(環境)	2	必	専 門	2		
		保育内容(言葉)	2	必	専 門	3		
		保育内容(表現)	2	必	専 門	3		
保育内容の指導法		②保育内容の指導法の合計単位数		10				

教育学科 初等教育課程 (初等教育コース) [小学校]

A 66条の6に定める科目

2024(R06)年度以降入学生適用

法令区分	授業科目	単位	科目区分	開講年次	成績
日本国憲法	日本国憲法	2	全共	1-4	
体育	体育実習	2	全共	1-4	
外国語コミュニケーション	英語1・2	計2	外国語	1	
数学、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 ※	数学、データ活用及び人工知能に関する科目 AIとサイエンス 情報機器の操作 コンピュータリテラシー	2	全共	1-4	

※「数学、データ活用及び人工知能に関する科目」又は「情報機器の操作」より2単位以上選択必修

B 教育の基礎的理解に関する科目等

2023(R05)年度以降入学生適用

記号の説明

必 … 教育実習参加条件科目 (かつ教免必修 ※p.21参照)

実習前年度までに修得していない場合は実習に行けません。※詳細はp.15参照
4年次で小学校での教育実習をするためには、3年次末までに実習参加条件科目 (必印科目)の中から「教育基礎論」、「教職論」、「教育方法と情報技術」、「教育実習I(事前指導)」を含み25単位を修得する必要があります。

科目区分説明

専 … 学部の専門科目

教・資 … 教免・資格のための科目 (卒業所要単位にならない科目)

複数の免許を取る場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

第一欄	教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	学 部				修得状況			
			授 業 科 目	単位	小1	科目区分	開講年次	修得年次	成績	
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	※1. 次頁[C:教科及び教科の指導法に関する科目]欄を参照。	—	—	—	—	—	—	
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育基礎論	2	必	専 門	1			
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2	必	専 門	2			
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行財政	2	必	専 門	3-4			
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	必	専 門	2			
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	発達心理学	2	必	専 門	2			
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	特別支援教育概論(幼・小)	2	必	専 門	3			
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践(小)	2	必	専 門	2			
		総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法(小)	2	必	専 門	3			
		特別活動の指導法	特別活動の理論と実践(小)	2	必	専 門	1			
		教育の方法及び技術	教育方法と情報技術	※2	2	必	専 門	2		
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	※2.左記事項は「教育方法と情報技術」に含む。	—	—	—	—	—	—	
		生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論(小)	※3	2	必	専 門	3		
第五欄	教育実践に関する科目	教育実践 ※4. 東京教師養成塾入塾者、彩の国かがやき教師塾マスターコース受講者は教育実習Ⅱではなく特別教育実習を履修する。	教育実践Ⅰ(事前指導)	1	必	専 門	3			
		教育実践Ⅱ(事後指導を含む)	※4	4	選必	専 門	4			
		特別教育実習(事後指導を含む)	※4	6	選必	専 門	4			
		教職実践演習	教職実践演習(幼・小)	※5	2	必	専 門	4		
第六欄	大学が独自に設定する科目 ※6 学校図書館司書教諭科目:受講登録者のみ履修可。 「学校図書館司書教諭」取得希望者は、5科目全て必修。	教育学の基礎B(初等教育)		2	必	専 門	1			
		こどもと音楽		1	選	専 門	2			
		器楽		1	選	専 門	2			
		こどもと造形		1	選	専 門	2			
		美術		1	選	専 門	2			
		学校経営と学校図書館	※6	2	選	教・資	2-3			
		学校図書館メディアの構成	※6	2	選	教・資	2-3			
		学習指導と学校図書館	※6	2	選	教・資	2-3			
		読書と豊かな人間性	※6	2	選	教・資	2-3			
		情報メディアの活用	※6	2	選	教・資	2-3			

※5.教育実習の単位を修得できない場合、単位は付与されない。

必・選必の合計単位数

35~37

C 教科及び教科の指導法に関する科目
2023(R05)年度以降入学生適用

科目区分説明 専 門 … 学部の特設科目
教・資 … 教免・資格のための科目(卒業所要単位にならない科目)

複数の免許を取る場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

小学校 1種		小学校教諭一種						
法令科目区分		教 職		学 部		修得状況		
		授 業 科 目	単 位	小1	科目区分	開講年次	修得年次	成績
		○印は法令区分を満たすための必修科目						
①教科に関する専門的事項 小学校一種	国語(書写を含む。)	○国語概論	2	必	専 門	1		
		国語の理論と実践	2	必	専 門	2		
	社会	○書写実習	1	必	専 門	1		
		○社会科概論	2	必	専 門	2		
	算数	社会科の理論と実践	2	必	専 門	2		
		○算数概論	2	必	専 門	1		
	理科	算数の理論と実践	2	必	専 門	2		
		○理科概論	2	必	専 門	1		
	生活	理科の理論と実践	2	必	専 門	2		
		○生活科概論	2	必	専 門	1		
	音楽	○音楽の基礎	2	必	専 門	1		
		音楽の理論と実践	2	選	専 門	1		
	図画工作	○図工の基礎	2	必	専 門	1		
		図工の理論と実践	2	選	専 門	1		
	家庭	○家庭科概論	2	必	専 門	2		
		家庭科実習	1	選	専 門	3-4		
	体育	○体育科の基礎	2	必	専 門	2		
		体育科の理論と実践	2	選	専 門	2		
		体育運動方法A	1	選	専 門	3		
		体育運動方法B	1	選	専 門	3		
外国語	○英語概論	2	必	専 門	2			
教科に関する専門的事項 指定科目を修得		①必・選必の合計単位数		29				
②各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	国語(書写を含む)	教科教育法(国語)	2	必	専 門	2		
	社会	教科教育法(社会)	2	必	専 門	3		
	算数	教科教育法(算数)	2	必	専 門	2		
	理科	教科教育法(理科)	2	必	専 門	3		
	生活	教科教育法(生活)	2	必	専 門	2		
	音楽	教科教育法(音楽)	2	必	専 門	3		
	図画工作	教科教育法(図画工作)	2	必	専 門	3		
	家庭	教科教育法(家庭)	2	必	専 門	3		
	体育	教科教育法(体育)	2	必	専 門	3		
	外国語	教科教育法(英語)	2	必	専 門	3		
各教科の指導法		②各教科の指導法の合計単位数		20				